

鹿ノ台川柳教室

十月十七日(月)

太鼓(運記)

笹倉 良一選

豪栄道綱取り場所の触れ太鼓

哲子

ドンと鳴り赤子泣き出す宮参り

アキラ

遺伝でしよ太鼓叩けば踊り出す

広子

無法松男涙の暴れ打

よし尚

太鼓鳴り手足ふるわす昼寝の子

えいじ

暴れ打ち夏の夜の夢浴衣がけ

俊平

鼓笛隊思考停止で戦場へ

ミノル

豊作だ祭りの太鼓野に響く

宏樹

どどどんと命を抱いてバチを打つ

百合子

燈籠山の虎太鼓や鉦に踊り出す

よう子

村まつり怒涛の如くバチ光る

登美

しがらみに気が進まない太鼓持ち

正清

笛太鼓囃せど神はソツポ向く

勝利

神よ聞け仮設の村で打つ太鼓

義雄

太鼓判押されないままトランプ氏

乃り子

五輪だ万博だ陣太鼓きしむ

千 楽

透新聞の当てにならない太鼓判

英 二

軸 大太鼓が唸る日本の祭りだな

良 一

自由吟（共選）

原 広子選

公園の樹々は手品師色変える

宏 樹

まつたけがおいでおいでと呼んでいる

えいじ

すがる目に負けて子猫の親になる

よう子

小春日は靴のスイツチオンにする

百合子

妻を褒め力仕事を片付ける

義 雄

スマホに訊く君は本当に電話かと

英 二

辛い日は心にカイロ当ててみる

哲 子

読み違えトランプタワー駆け上がる

義 雄

バラを買い罪ほろぼしの誕生日

千 楽

散骨は故郷の海にしておくれ

良 一

一冊を読み終えぬまま秋が逝く

よう子

子育ての苦労が親を育ててる

アキラ

ほんとうに言いたいことは腹の内

勝 利

うっかりと落とした言葉尖ってる

百合子

ヌーボーをグラスに秋と戯れる

良一

忝常識を捨てて身軽になる余生

勝利

軸裏表ある人生で倍生きる

広子

自由吟（共選）

松岡 俊平選

また一つ昭和が消えたお舟入り

登美

読み違えトランプタワー駆け上がる

義雄

すがる目に負けて子猫の親になる

よう子

辛い日は心にカイロ当ててみる

哲子

柚子風呂の風情に勝る柚子まんじゅう

乃り子

ほんとうに言いたいことは腹の内

勝利

いい訳を無縁仏によもすがら

正清

坂の街素敵だったね若き日日

よし尚

バラを買い罪ほろぼしの誕生日

千楽

川柳と酌み交わしてるボージョレイ

広子

ヌーボーをグラスに秋と戯れる

良一

一冊を読み終えぬまま秋が逝く
よう子
常識を捨てて身軽になる余生
勝利
裏表ある人生で倍生きる
広子
軸認知症予防に囲碁を再開す
俊平

「こっそり」(互選)

② エンディングロール妻も涙を拭く気配
義雄
ネット囲碁こっそり打って腕上げる
俊平
こっそりと先に逝くのか俺おいて
えいじ
仏壇に母が残した古い文
英二
③ 声にならぬ声で地球ないている
よう子
④ こっそりが似合ういつもの午前様
百合子
悪友に口止め頼む披露宴
よう子
こっそりと恋のもつれを解いている
勝利
ひっそりと私殺して笑顔の輪
広子
駅裏のパブは男の秘密基地
良一
いざこざを内内にして頬かぶり
百合子
こっそりと作った地下に詰る謎
よし尚

⑤こっそりと知った秘密を伏せておく 乃り子

采配が原石みごと光らせる 千 楽

成人向けこっそり読んで無事大人 アキラ

耳打ちで連帯感を確かめる ミノル

栄冠の陰に特訓続けた日 千 楽

⑥絶景の紅葉みないで君探す 登 美

見積もりにこっそり入れる隠し味 義 雄

こっそりといけずもできるお献立 広 子

⑦パソコンに履歴残って大慌て アキラ

こっそりと若き自分に会う日記 哲 子

互選の部。お題「こっそり」とダブル表現が散見される、と良一さん。言われると、なるほど。隠し味、へそくり…。皆さん、気を付けましょうね。(千)

次回は十二月十九日午後一時から、西集会所で。

お題は「上の空」と「転ぶ」、それに自由吟。各2句。

「上の空」は連記用で短冊に2句とも書く。自由吟（選者2人の共選）は2部を提出。

問合せ 五十嵐 修 79・0751、

原広子 79・0061